

☆パラリンピックの原点は「治療(リハビリ)」! ? ☆

先月24日に東京パラリンピックが開催され、史上最多の4403人の選手が参加しました。日本選手団の活躍もメディアで数多く報道されていますが、みなさんはパラリンピックについてどこまで知っていますか？

パラリンピックとは障がい者を対象とした、もうひとつのオリンピックです。4年に一度、オリンピックの終了直後に同じ場所で開催されます。パラリンピックの歴史を辿ると最初は、第2次世界大戦で主に脊髄を損傷した兵士たちの、リハビリの一環として行われていました。その後大会を重ねていき、1952年に国際大会となり、1988年のソウル大会からはオリンピックの直後に同じ場所で開催されるようになったそうです。

オリンピックでは「選手のプレーがもたらす試合展開」に注目するのに対し、パラリンピックでは「身体的なハンデを乗り越えてスポーツをしている人」に注目が集まりやすくなります。競技内容よりも選手個人のストーリーが多く語られ、パラスポーツ（障がい者スポーツ）の本当の姿やその魅力、競技内容の面白さが伝わりづらいことがあります。

そのため、見る側にも求められることがあります。健常者の競技は誰もがひと目見ただけで、パワーや卓越したテクニックがいかにすごいかがわかります。パラスポーツ（障がい者スポーツ）となると、選手たちの運動能力に制約があり、迫りに欠けて見えることも少なくありません。ただ、その裏側には驚異的な技や能力、それを可能にした想像を絶する努力があることを考えて観ることでより選手のすごさやパラスポーツの魅力が伝わってくるのではないのでしょうか。残りのパラリンピック競技もその視点を持ちながら観戦してみてください。



※日本障がい者スポーツ協会（JPSA）が出している競技ガイドはとても分かりやすいのでぜひ調べてみましょう。

☆総合(留学生にインタビュー)☆

10月11日に行う関西外国語大学の留学生へのインタビューについて話し合いを進めていきました。まず初めに、これまで学習してきた人権学習を振り返り、今回のインタビュー活動の趣旨説明を各クラスの学級委員より行いました。その後、留学生にインタビューするテーマについて意見をだし、精選していく話し合いをしました。色々なテーマや質問内容が意見として出て、どのような活動になるのかとても楽しみです。

留学生とは英語でコミュニケーションをとるので、本番に向けて英語を用いた実践的なコミュニケーション能力も高めていきましょう。



夏休みに、
関西外国語大学の方と活動について
事前打ち合わせを行いました。



～お知らせ～

※体操服登校は9月10日(金)までです。

※リモート授業を受けている方で、ワークシート等を学校に取りに来る場合は金曜日の16:30~17:00に取りにきてください。

※土日、祝日も健康観察を行いタブレットで入力してください。

☆NASAゲーム☆

今週30日（月）に総合の時間でNASAゲーム（グループでの合意形成を目的とするゲーム）を行いました。積極的に答えを出し合い、みんなが納得する答えを見つけることをめあてとし行いました